



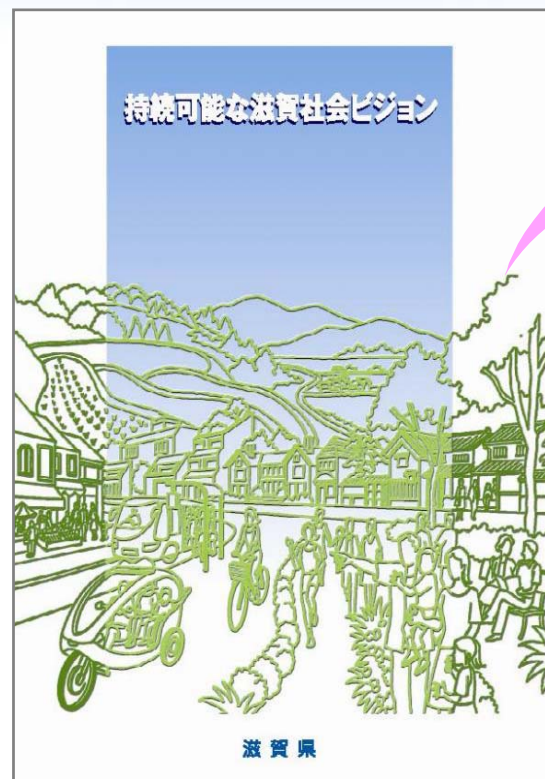
**滋賀県の場合、
何がCO₂削減の決め手となるのか**

2009年12月3日

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

内藤 正明

第1段階) 持続可能な滋賀社会ビジョン



滋賀県、2008年3月策定

(「持続可能な滋賀社会ビジョン」より抜粋)

- ① 固有の風土や地域資源を活用し、
- ② 社会経済活動を環境容量内に収め、
- ③ 豊かさを実感できる、

持続可能社会へと転換を図っていく

- ❖ 2030年に二酸化炭素半減
- ❖ 琵琶湖の再生

第1段階) 6つの方策



1

琵琶湖と暮らしを支える森づくり

2

自然が生み出すエネルギー

3

環境と共に成長する産業

4

「もったいない」で変わる暮らし

5

人、物が環境に優しくつながる交通・物流

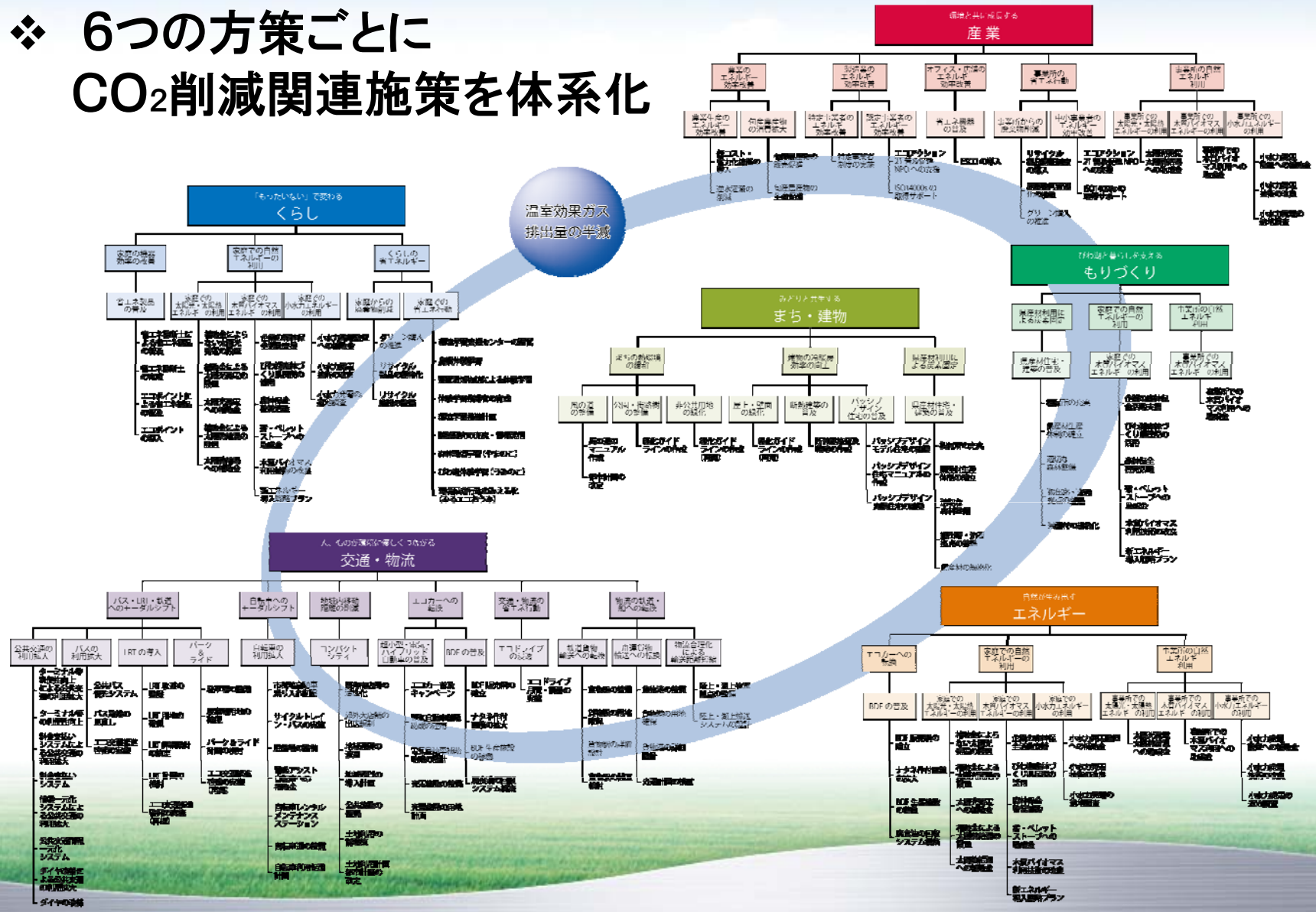
6

みどりと共生するまち・建物

第1段階) 6つの方策の体系化



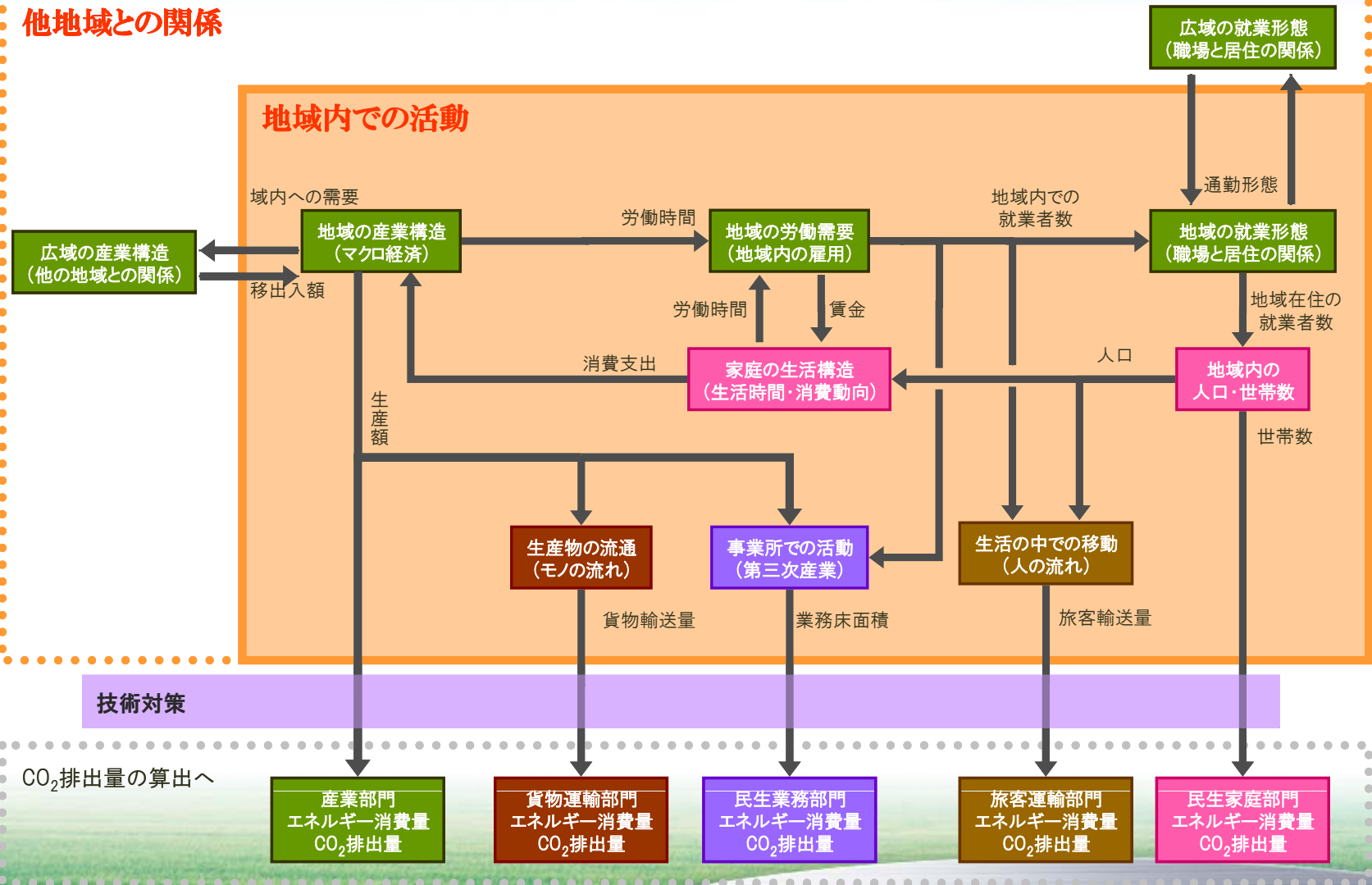
❖ 6つの方策ごとに
CO₂削減関連施策を体系化



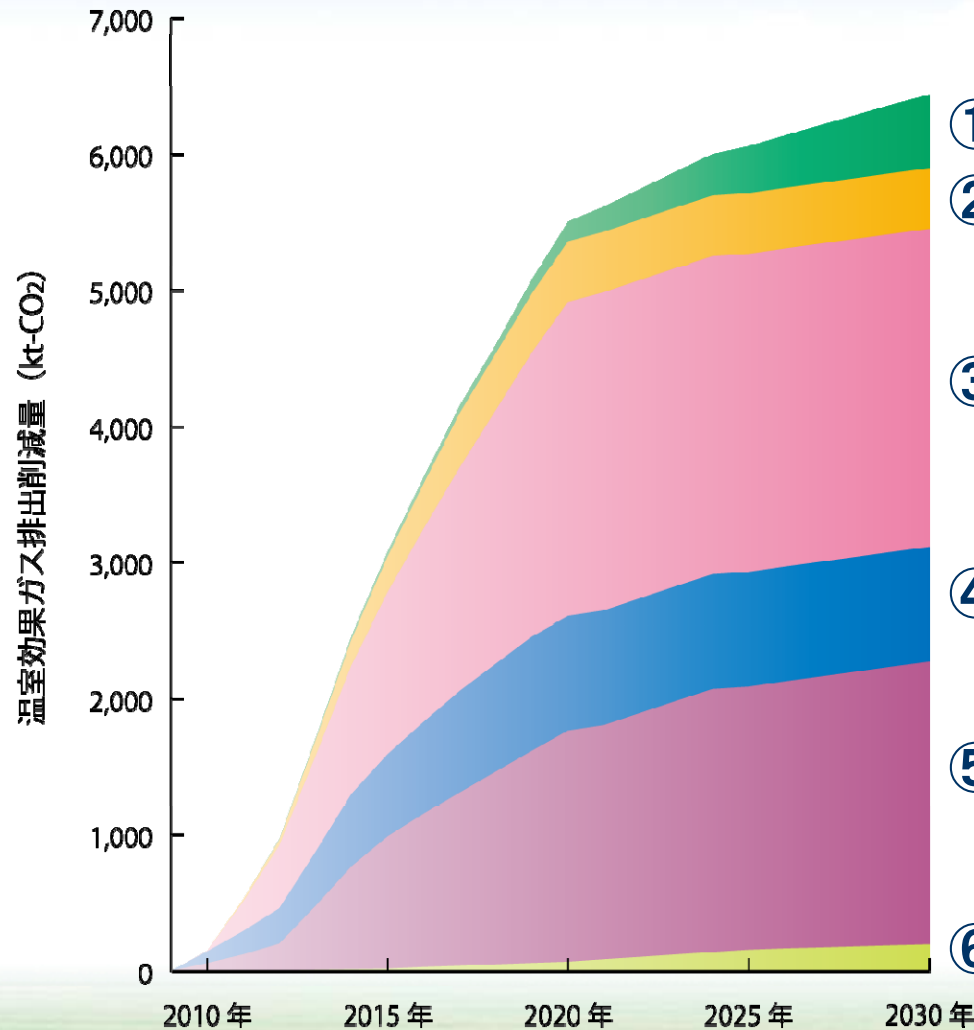
第1段階) シミュレーション



他地域との関係



第1段階) 6つの方策別ロードマップ



- ① 琵琶湖と暮らしを支える森づくり
- ② 自然が生み出すエネルギー
- ③ 環境と共に成長する産業
- ④ 「もったいない」で変わる暮らし
- ⑤ 人、物が環境に優しくつながる交通・物流
- ⑥ みどりと共生するまち・建物



第2段階) 4つの方策

温室効果ガス
排出量の半減

エコハウスモデル①
(高島)

地産型家づくり

有機農業
ネットワーク

近江低炭素型
ビジネスモデル

メインストリート
びわ湖

エコハウスモデル②
(堅田)

集落再生モデル

◎ 研究サイト

農工商をつなぐ
滋賀新産業モデル

東近江市

博物館
(S30年富江家)

エコ村

滋賀地域経済圏

第6グループ【 滋賀変革構想検討会議 】 発足

地域がにぎわう
経済

豊かさを実感
できる社会

将来のイメージは…?
2030年の滋賀
Sustainable Shiga 2030



人と自然の豊かさ、社会の豊かさが
未来につながる滋賀